

食品ロス = お金のムダ

食品ロスってなに？
私にも関係あることなの？



草加市の現状

食べられるのに、捨てられる食べ物のことを食品ロスと言います。市民1人当たりの食品ロスは、年間約48kgにもなり、毎日お茶碗1杯のご飯を捨てていることと同じです。

(出典：令和2年草加市可燃ごみ調査)

家計への影響

食品ロスは、気づかぬうちに家計へのダメージとなっています。
例：ご飯1杯25円×1世帯(3人)×年間(365日) = 2万7375円

(出典：「米をめぐる関係資料」令和4年3月 農林水産省)

今すぐできる3つのポイント

1 食べ残しの原因は作りすぎ



食べ残しの理由の7割は、「料理の量が多かった」。食べられる量だけを作るようにしましょう。消費する量が適切になることで、過剰な買い物の軽減につながります。

(出典：「食品ロス統計調査」平成21年度 農林水産省)

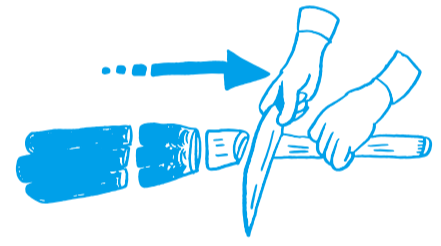
2 賞味期限は捨てる期日ではない



賞味期限とは、おいしく食べられる期限のことです。この期限が過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

消費期限とは、期限が過ぎたら食べない方がよい期限のことです。表示を確認し、食品ロスの削減を行いましょ。

3 野菜の保存にひと工夫



食品ロスを出さないために、野菜の使い方や保存にも工夫を。例えば長ネギの白い部分は比較的日持ちしますが、緑の部分はしなびやすい傾向があり、緑の部分から使うと、無駄なく食べられます。

フードドライブを活用しよう

工夫しても余ってしまった食品は、フードドライブを活用しましょう。フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、必要な場所へ寄付する活動です。集められた食品は、子ども食堂などで有効活用されます。

賞味期限から2か月以上余裕があり、未開封で常温保存ができるものであれば、いつでも受け付けています。市役所本庁舎や公民館などの公共施設に設置されている緑色の専用ボックス(右写真)に、食品を入れてください。

回収場所の詳細情報は [こちら](#) →



問廃棄物資源課 ☎931-3972 ☎931-9993

みんなでシェアしよう!

